

あけまして おめでとうございます。皆様におかれましては、幸多き新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、第29回演奏会に向けて、本格的に練習が始まりました。ご指導くださる諸先生方から、多くのことを学べるチャンスですね。体調管理をしっかりと、演奏会の成功のため、がんばりましょう！

新年のご挨拶

岡山フルートの会
会長 岩崎範夫

「あけましておめでとうございます。今年もより良い年になりますよう 心から願っています」

「好きなフルートを練習し、もっと好きになり、お互いに発表し、聴き合ったりし、意見交換もできれば最高ですね」

昨年も会の行事に多くの方が参加してくださり、楽しい催しことができました。ありがとうございました。来る3月16日(日)には、第29回岡山フルートの会演奏会が計画されています。皆様の積極的なご参加、ご協力を得て一段と楽しいフルートフェスティバルにしたいと思っています。

会の行事、活動についてのご意見、ご感想を沢山聞かせて頂き、より改善し、新たな活動を始めることも考えていきたいと思っています。最後になりましたが、会の様々な運営に携わっていらっしゃる方々に心より感謝申し上げます。

★ 第29回岡山フルートの会演奏会について

3月16日に行われる岡山フルートの会演奏会の案内を同封しております。出欠確認ハガキは11月号の会報に同封しておりますので、皆様、ハガキにご記入の上、投函をお願いします。たくさんの方の参加お待ちしております。お問い合わせは第29回岡山フルートの会演奏会実行委員長の山本恵理さんをお願いします。山本恵理さん:090-1684-3149

なお、ルミエールの演奏曲名ですが、次のように訂正いたします。

誤: 交響曲第38番「エコー」(ハイドン) ⇒ 正: 2本のフルートのための「エコー」(ハイドン)

第2回セレーナ・コンサート

天本由美

昨年の11月23日、就実高校なでしこホールにおいて第2回セレーナ・コンサートが開催されました。毎週火曜日の夜、安達先生の指導の下、限られた時間の中で本当に集中した練習が行われました。去年はフルートコンベンションにも参加し、セレーナの演奏レベルが確実に上がってきているのが感じられました。

プログラムは「美しき青きドナウ」「ハンガリアン・ラプソディ第2番」「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」の他、学生さんたちによるデュオが2組。楽器もピッコロからコントラバスフルートまで揃い、楽しい楽器紹介や安達先生のわかりやすいお話もあり、お客様も満足していらっしゃいました。

今回出演したのは21名でしたが、なんと年齢の開きは50歳以上です。老いも若きも笛を吹く人は皆兄弟

皆仲間という温かい雰囲気の中、更に親しくなったり、演奏についてお互いに教えあったりして、このグループがますます向上するであろうという素晴らしい盛り上がりを感じました。また演奏だけでなくセンスの良いチラシ・プログラムの作成や写真撮影、録音など、メンバーの中には笛以外にも優れた才能を持っている人もいて頼もしく思いました。

回目の第3回コンサートに向けて、より質の高い演奏ができるよう練習を積んでいきたいと思います。

(星さんコーナーその27)

「ありがたき、わが師の恩」(その1)

星島明郎

高校2年から独学でフルートを吹き始めました。師と言えるものは、一冊の教則本と何枚かのSP盤レコード(学校の音楽教室にあったM.モイーズの吹いた「モーツァルト作曲フルート協奏曲」と「ビゼー作曲アルルの女のメヌエット」、森 正(もり ただし)の吹いた「靴が鳴る奏曲」)だけで、音の出し方、指使い、音色まで全くの手探りでした。

岡山大学に入ると、2年先輩に平田靖昭さん(元岡山県吹奏楽連盟理事長で現在岡山フルートの会特別会員)がいて、教えて頂くことが数多くありました。当時先輩は、吉田雅夫先生の愛弟子である林リ子先生に師事されていて、盛んに演奏活動をされていました。又、隣の広島大学に松本洋二さんと言うフルートの名手(テナーサックスの名手として名高い松本英彦の実の兄弟)がいて、時々NHK岡山

放送管弦楽団では隣で吹かせて頂きましたが、すばらしいテクニックの持ち主で、私は彼を目標に努力したことも思い出します。当時の岡大にはフルート専門の先生は居なかったのでヴァイオリンの中村 平先生(初代岡山県吹奏楽連盟理事長で作陽音大名誉教授)とチェロの榎本辰夫先生にレッスンを受けました。中村先生に習ったヘンデルのソナタなどはヴァイオリンソナタ風でしたが、それはそれで結構楽しかった思い出があります。榎本先生には弦楽器の先輩たちと、フルートカルテットなど楽しいアンサンブルを色々と指導して頂きました。バッハの管弦楽組曲第2番のフルートソロも私の大切なレパートリーになって、NHKから放送もさせて頂きました。又、指揮の斉藤秀雄氏の崇拜者だった先生には、指揮法についても機会ある度にこまごまと教えて頂きました。

3年生になった頃から、オーケストラプレーヤーを目指すようになり、榎本先生の紹介で大阪放送交響楽団(山田和男指揮)の伊藤 晋先生に指導を受けることになりました。伊藤先生は、吉田雅夫先生より4年先輩で、東の吉田、西の伊藤と言われた日本フルート界の重鎮で、イベールの「フルート協奏曲」を、当時NHK交響楽団(略称N響)のメンバーだった吉田先生とほとんど時期を同じくして、東京対大阪で競演して評判になった事もあります。伊藤先生は又、昭和5年に、かの有名なドップラーの「ハンガリー田園幻想曲」の本邦初演をされたり、プロコフィエフの「ソナタ」をNHKから放送初演されたり、日本フルート界に大きな貢献をされています。モーレンハウエル製の肉厚の半木管を吹かれていましたが、迫力のある力強い音と繊細なPPを併せ持っていて、その指の素早い動きには、何時も驚嘆させられていました。1991年、神戸のフルートコンベンションの後夜祭で親しくお会いしたのが最後で、その翌年82歳でお亡くなりになりました。

高校時代、大学時代には、東京フィルハーモニー交響楽団(略称東フィル)・N響(当時は日本交響楽団)など在京のオーケストラが来岡する度にそのフルート奏者を訪ねて、楽屋などでレッスンして貰っていました。その中の一人が、その後お亡くなりになるまで公私ともに大変お世話になる事になった高橋安治先生(元N響主席フルート奏者・国立音大教授)だったのです。又、私の高校時代に使用した楽器は、当時、東フィルの第一フルート奏者、河村秀一先生から譲り受けたものでしたし、同じく東フィルの山口平八郎先生も私の大切な恩師の一人でした。

(つづく)

★ 演奏会情報

♪ 岡山チェンバープレイヤーズ 第25回コンサート
日 時:2008年1月20日(日) 14:30 開演(14:00 開場)
会 場:ルネスホール
出 演:フルート／藤澤桂子, ハープ／竹村知子, チェロ／須々木竜紀
曲 目:カノン(パッヘルベル), アヴェマリア(シューベルト)
 グリーンスリーブス(イギリス民謡) 他
入場料:1,500 円(ドリンク付き), 未就学児無料

♪ Il concerto di primavera ～室内楽の楽しみ～Vol.2
日 時:2008年2月3日(日) 14:00 開演(13:30 開場)
会 場:テルサホール
出 演:フルート／安達雅彦, 小池かほる, 堺 由美, 野崎 愛, 宮尾紀子
 ピ ア ノ／中桐直子, 新谷祐子
曲 目:コンチェルト(ボワモルティエ), シンフォニエッタ(ロレンツォ) 他
入場料:一般2,000 円, 学生 500 円

♪ 演奏会情報は熊瀬さんに連絡してください ♪
熊瀬さんのアドレス:kumakuma-family@nifty.com

【会報の封筒詰めのお知らせ】

2月号の会報の封筒詰めを, 2月5日(火) 午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには, 是非, 封筒詰めのお手伝いをお願いします。

